

北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名 令和6年度第1回サービス向上部会

開催日時 令和6年4月22日(月)10:00~11:00

参加者所属機関名等

中野市社協指定訪問介護事業所、飯山市社協ヘルパーステーションゆきつばき、
山ノ内町社協指定訪問介護事業所、木島平村社協指定訪問介護事業所、
野沢温泉村社協指定訪問介護事業所、栄村社協指定訪問介護事業所、相談支援事業所たむろ、
相談処ねこの手、訪問介護たむろ、ケアホーム希望、のぞみの郷高社、一般社団法人きぼう、
中野市障がい児者相談支援事業所ふたば、ながでんハートネット中野ポルカ、
ながでんハートネットメゾふおるて、こどもプラス信州中野教室、ながでんハートネットカラー's 中野、
北信圏域障害者生活支援センター、児童発達支援センターみらいく、飯山養護学校、
北信圏域障害者総合相談支援センター

本日のテーマ、課題等

- ①開会 ②部会長・副部会長の承認 ③自立支援協議会組織図等の確認 ④部会の目的の検討
⑤今年度の活動内容について ⑥その他

会議で話し合われた事

1. 開会

- 自己紹介

2. 部会長・副部会長の承認

【部会長】のぞみの郷高社 山崎立太氏

【副部会長】こどもプラス信州中野教室 坂口綾香氏

3. 自立支援協議会組織図等の確認

- 自立支援協議会は当事者のニーズに基づき活動していくこと、また各部会の役割等を確認した。
○今年度から始まる第6期障害福祉計画(及び第2期障害児福祉計画)についても共有した。

4. 部会の目的の検討

地域の支援力の底上げをめざし、障がい理解や適切な支援ができる人を地域に増やしていく事を狙いとする。
また、横のつながりを大切にし、情報共有の中から地域の課題の把握・提案を行っていく。

5. 今年度の活動内容について

〈部会全体〉

- 他部会の活動状況の共有
○現場支援者に向けた研修会の実施…年1~2回

〈各グループ・ネットワークの活動〉

○ヘルパーグループ

- ・昨年度からの持ち越しの課題でもある、障がい理解や障がい者への対応について深堀するとともに、介護保険と障がい福祉分野の文化違いや相談員・ケアマネといったプランナーの違いから生まれる業務における困り感についても北信地域として困り感の解消に向けて協議を行う。

○暮らしの場グループ

- ・昨年度までグループホーム事業所が中心になり居住の課題について協議を行ってきたが、今年度から暮らしを軸とした生活支援全般の支援力の向上を目指し活動を行う為、名前も「生活支援力向上グループ」に名称変更し活動を行う。グループ内で講師を決め、学習会を中心としたグループ活動を行う。内容を自事業所で共有していただく。

○児童発達支援ネットワーク（キッズねっと）

- ・児童発達支援ネットワークの今までの経過を共有した上で、今年度は放課後等デイサービス事業所の課題についての協議を進める。
- ・4月からの報酬改定の内容を受け、各事業所の実情について共有。
中野市の児童クラブ・保育園民営化の動きに合わせて地域のフォーマル支援の継続が困難になることが予測されることを共有。

6. その他